

## 安全常識警句集(運転関係)サンプル

分類	分類補助	警句	解説/事故事例	作成者
2312	サンプリング・ 非正常作業	普段閉めているバルブを開いた場合、直ぐには内容物が出てこないことがある。絶対に開けたまま放置しないこと。	<b>【事故事例】</b> 減圧蒸留塔の塔底油をサンプリングするため、塔底油ポンプ出口ドレン弁を開いたが、油が出てこなかったため、開放のまま打ち合わせをしている間に重油が突然流出し火災が発生した。 (使っていないドレン弁は閉塞することあり、温度により溶解し開通・ポンプ出口は圧力が高い。バルブを開けたまま放置など問題が多く、非正常作業としての基礎教育・訓練が重要である。)	澁谷 徹
2003	静電気	石油類など可燃性液体の移し替えを行う場合、導電性のないプラスチック製る斗を使用したり、容器を絶縁状態にしないこと。	絶縁状態になるために、プラスチックや容器に静電気が蓄積し、火災の原因になる。 <b>【事故事例】</b> 樹脂工場の灯油の入った中間槽からペール缶に水抜き操作を行ったとき、取っ手がポリエチレン製のペール缶を配管にぶら下げて使用したため、静電気で灯油に着火、火災となった。 (死者 0、負傷者 0)(2000.8 化学工場 神奈川県)	宇野 洋
2005	火気使用	火気工事は隣接する設備に限らず、離れていても影響を及ぼすおそれのある設備についても情報収集あるいは関係部署間の連絡をして、安全性を確認した上で許可しなければならぬ。	LPG など C3 以上の炭化水素が漏えいすると、地面を這って拡散する。 <b>【事故事例】</b> ガソリンタンクの抜き取り作業を隣接するタンクでの火気使用中に行ったため、ガソリン蒸気がその火気に引火し、火災となった。 (死者 6 負傷者 1)(2003.8 油槽所 愛知県)	宇野 洋